



こんにちは！7月に入り、いよいよ夏本番ですね。
 厳しい暑さが続きますが、皆さま体調を崩されていませんか？水分補給とこまめな休憩を心がけて、元気に夏を乗り切りましょう☀
 さて今回は、少し季節をさかのぼって、心に残る “春の思い出” をご紹介したいと思います。



❀ 春の思い出 ❀ ～ 5 年ぶりのお花見 ～

今回ご紹介するのは、認知症のある 80 代の男性 Y さんとの関わりです。認知症の影響で介護を拒否されることが多く、入浴やオムツ交換、歩行の誘導なども、なかなか思うように進まない日が続いていました。

リハビリを始めたのは約 1 年前。当初は拒否も強く、一緒に身体を動かせない日もありました。そんな中で大きな支えとなってくださったのが、娘様の存在です。娘様は私たちが驚くほど Y さんの様子をよく見ておられ、「この言葉なら受け入れやすいです」「このように動きを見せると伝わりやすいです」と、声かけのタイミングやジェスチャーの工夫、Y さんの性格などを細やかに教えてくださいました。娘様と一緒に Y さんとの関わり方を模索していく中で、少しずつ一緒に歩ける日が増えていきました。…ある日、娘様がこんなお話をしてくださいました。

「父は桜が好きだったんです。でも、こういう状態になってから、もう 5 年くらい桜を見せてあげられていなくて…」

娘様の願いをなんとか叶えられないか——。つながるの看護師やケアマネジャー、主治医の先生、福祉用具の担当者様、そして娘様と相談し、車椅子で自宅近くの桜を見に行く計画を立てました。体調・天候がそろそろ日にしかチャンスはなく、娘様のご提案でリハビリの回数を増やして、その時を待ちました。

そして迎えたお花見。チャンスは一度きりではなく、何度も訪れました。ずっと目を閉じておられる日もあれば、うつすらと目を開け、そんな表情を見せてくださる日もありました。

はじめは認知症、介護の拒否から、自宅の外にお連れすることは難しいのではないかと心配された状態でしたが、娘様や看護師と一緒に関わり方を模索し、ついに「5 年ぶりに桜を見せてあげたい」という娘様の願いを叶えることができました。お花見の時には娘様がとても喜んでくださり、私自身も胸がいっぱいになりました。Y さんは今もリハビリを続けられており、時折「よかった～」「気分が良いよ～」とポジティブな言葉を聞かせてくださることがあります。そんな時は私も嬉しい気持ちになり、娘様と一緒に喜んでいきます。



今回の関わりを通して、訪問リハビリは利用者様ご本人だけでなく、ご家族様の願いを叶えるお手伝いができた時にも、大きなやり甲斐を感じられる仕事だと、あらためて感じました。また、利用者様をよく知り、利用者様に寄り添ったコミュニケーションの工夫を行うことの大切さを学ばせていただきました。これからもご家族様も含めて、利用者様の幸せにつながる関わりを大切にしていきたいです。

【脳トレ】

Q：晴れた日にしか出てこないのに、暑い日はみんなが入りたがるものはなんでしょう？

—— 前回の答え ——

やる気も技術もあるのにいつも仕事をやめさせられてしまう生き物はなんでしょう？

答え：蚕（カイコ）

つながる訪問看護リハビリステーション
 〒502-0916

岐阜市西中島 4 丁目 2 番 8 中日本アパレル 1 階

TEL 058-214-9077 FAX 058-214-9088

Email info@tsunagaru-kango.jp

HP https://tsunagaru-kango.jp

